

要請番号 (JL54525B15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	C151 農産物加工	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・2026/2・2026/3・ 2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

ルウェンタンガ農学院 (RFI)

3) 任地（ムバララ県ブバレ） JICA事務所の所在地（カンパラ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車 で 約 5.5 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

1994年に教育省職業訓練局により設立された、中学校卒業者が農業技術を学ぶための公立の農業技術訓練学院。全国に5校設立されている農学院の中で最大の規模を持つ。2年制のコースとして、「畜産コース」、「畑作生産・管理コース」、「畑作・経営管理コース」「農業生産・経営管理コース」が実施されており、さらに2023年には「農産物加工コース」も開講される予定。また多くの短期コースも実施されている。敷地面積は50ヘクタールで大規模な圃場、牧草地を有する。生徒数は約750名でほとんどが寄宿生。教員数は28名。年間予算は約1億9千7百万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2023年に開講する農産物加工コースは新校舎が建設され、また世銀が支援している教育・スポーツ省のプロジェクトを通じての多くの実験、分析機材が調達されている。一方、RFIは農産物加工専門の教官は不足している上、研究室での実験、実習経験は乏しく、その指導技術は低い。JICA海外協力隊にはそれら教官の指導技術や知識の向上、また調達された資機材の有効利用への支援が期待され、派遣の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

具体的な指導・活動内容は隊員の経験・技術などをもとに校長と話し合って決定される。農産物加工コースで以下が主に期待されている。

- 1.カリキュラムに沿った実習計画立案支援
- 2.教官の実習クラス指導技術向上支援
- 3.実習クラスでの指導教官支援、生徒指導支援
- 4.導入機材の操作支援
- 5.学院内で課外授業・文化交流・日本語紹介などの企画と実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電子顕微鏡/原子吸光分析器/分光光度計の他、基本的な分析、実験器具、農産物加工機器、調理器具、冷蔵庫、電子レンジ、恒温器等が2023年初めに調達されている(主に中国製)。

4) 配属先同僚及び活動対象者

■配属先同僚

- ・農産物加工学科長(40代)
- ・土壌・分子生物学研究室主任(40代)

- ・教官3人(年齢25-45)、農業分野の大卒、専門学校卒
- 活動対象者
- ・教官28名、生徒750名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）農学系 備考：教官の学歴が同程度のため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実習を担当する為

[汎用経験]：

- ・理科実験の経験や薬品・器具の知識
- ・農林水産業および関連する加工業等の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（15～30℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

- ・任地での生活使用言語は、英語もしくは現地語の一つであるニャンコレ語。現地訓練期間に語学研修を行う。